

編集後記

新春恒例の干支シリーズは、昨年一回りした。今年はその番外編ということで、干支になれなかった動物である猫をとり上げた。猫が干支になれなかった理由はネズミに騙されたというよく知られたものから諸説あり、国によっては干支に含まれることもあるとか。特集を組むなかであらためて感心したのは、猫好きな方の猫にささげる熱量だ。もともと、本館で開催中の年末年始の恒例イベントである干支展「いぬ」にかかわる人から話を聞く限り、犬好きのそれも負けていないか。犬を飼っていたことはあるが、ペット自体に興味のない小生からすると、ほとんど異文化である。(丹羽典生)

●表紙：本館所蔵の猫たち

前列右端から、一文人形 (H0013959)、土人形 (H0107962)、人形 (H0107961)、土人形 (H0014686)、相良人形 (H0011189)、塑像 (H0224068)、花巻人形 (H0011416)、張り子人形 (H0014244)

次号の予告

特集

いのち

企画展「現れよ。森羅の生命 — 木彫家 藤戸竹喜の世界」関連

月刊みんなぱく 2018年1月号

第42巻第1号通巻第484号 2018年1月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生(編集長) 寺村裕史 三島禎子
南真木人 山中由里子 吉岡乾

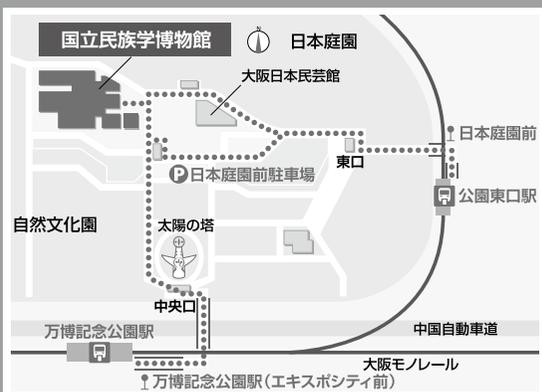
デザイン 宮谷一款 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に
お願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅(エキスポシティ前)」 「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてできます。

みんなぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんなぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

